

伊藤です



大崎町協力隊通信 vol. 34

トピックス1 < 竹林整備を地域へ広げる取り組み

令和8年1月から野方地区では、野方公民分館を中心に竹林整備の取り組みが始まりました。

より多くの方に竹林整備への関心を持っていただきたいという思いから、野方地域にあるサロンを訪問し、お話しする機会をいただきました。サロンとは、高齢者の方々が集い交流する大切な場です。

今回は4つのサロンを訪問し、竹林整備の基本や、その活用方法について説明をおこないました。

具体的には、竹炭づくりやメンマづくりといった竹の活かし方に加え、竹林整備と福祉を結びつけた「竹福連携」の取り組みや、先進事例である宮園集落の活動について紹介しました。また、竹林整備を通じて人が集まり、地域のつながりが生まれていることについてもお伝えしました。

参加された皆さんからは多くの関心が寄せられ、活発な質問や意見交換がおこなわれるなど、和やかな懇談の場となりました。今後もこのような機会を通じて、竹林整備の輪を地域に広げていきたいと考えています。



サロンの様子(ひまわり宮下)

訪問したサロン

- ① 木曜会(中村二区・中組集落)
- ② きらり佐土原いきいき
- ③ ひまわり宮下
- ④ サロンTuramise

トピックス2 < 鮮やかなイルミネーション

3月29日(日)、野方にある照日神社境内にて「竹灯籠の夕べ」が開催されました。日没とともに竹灯籠に火が灯り、境内は優しい光に包まれ、幻想的な空間が広がりました。

この竹灯籠は、数か月前から野方分館の皆さんを中心に、照日神社にゆかりのある竹林の整備から取り組み、一本一本手作業で作られたものです。当日までに、約700本もの竹灯籠が準備されました。

当日は、「のがた食堂」によるぜんざいの振る舞いもあり、来場者は温かい甘味を味わいながら、ゆったりとした時間を過ごしました。

竹林整備から生まれた灯りが地域を照らす、心あたたまるひとときとなりました。



竹灯籠の夕べの一幕



野方の竹林整備(3月)

活動の詳細はこちらの
Instagramより



【お問い合わせ】 農林振興課 林務水産係(内線506) 担当:鶴野、米永 ☎476-1111(平日8:30~17:15まで)